

6. 友人関係

友だちの名前と顔が一致し、住所なども知っていますか？

子どもの友だちの顔と名前が一致していますか？中学時代は学級や学年の友だちや先輩たち、また部活動や塾で知り合った他校の友だちなど、小学校以上に交友関係が広く深まる時期です。また、行動範囲も飛躍的に広がります。家に遊びに来たときなどを利用して、お子さんの友だちの顔と名前を覚えておくことや、住んでいる場所などを覚えておくなど、子どもの交友関係を把握することが大切です。



家庭で帰宅時刻や外出についての把握をしていますか？

ある事例です。生徒の下校後、外が暗くなる頃に保護者の方から電話がかかってきました。内容は「子どもがまだ帰ってこないのですが、今日の下校時刻は何時でしたか？」というものです。後日、生徒に聞くと、「友だちの家により道をしていた」とのことでした。

帰宅時間については各家庭で把握しておくことが大切です。また、外出する場合も「どこへ、誰と出かけ、いつ戻る」といった内容を伝えさせることも大切です。最近は携帯電話を持つ生徒も増えており、何かあったら携帯で連絡を取れるからと思いがちですが、基本的な内容は把握しておく必要があると思います。また、より道の延長から遅い時間まで友人宅で過ごしてしまうときもあります。たとえ、休みの日でも夕食時には帰宅するよう約束しておくことも大切です。友だちを家に泊めたがる、友だちの家に泊まりたがるなどは、最も注意しなければならないことのひとつです。



友だちの親ごさんとの連絡は？

子どもたち同士は大親友でも、保護者同士の面識がない、というのはよくある話です。子どもたちは互いの家を行き来したりして、相手の保護者の方にお会いする機会も多くなると思いますし、時にはお礼やお願いの連絡をすることもあられるでしょう。そんな時に顔を知っているとスムーズに話が進むものです。たとえば保護者会など学校行事を利用して、お会いしておくのもひとつの方法です。お互いに大人同士の付き合いができていることが大切です。また、携帯電話の番号やメールアドレスなどを交換しておくと、何かの時に役立ちます。



会話の中で子どもの友だちの悪口を言うのは・・・

子どもにとって、友だちは生涯のものです。親が子どもの友だちを悪く言ったり、友だちと比較したりすることはいかながなものでしょうか。自分の友だちを悪く言われたらいやですよ。